

平成 24 年 1 月 5 日

技術者倫理 C P D 講座「科学技術と倫理」(ご案内)

主催：公益社団法人日本技術士会近畿本部

新春の候、各位におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
3 月 1 1 日の東日本大震災と福島原子力発電所事故によって、改めて「科学技術と倫理」、
さらに「技術者が果たすべき役割」が注目されています。そこで、この度近畿本部では、
C P D の一環として、下記の通り、技術者倫理 C P D 講座を開催いたします。

多数ご参加されますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時：平成 24 年 2 月 4 日 (土) 13:00~17:00 (受付：12:30~)
2. 場 所：(財)大阪科学技術センター 8F 小ホール (定員 80 名 先着順)
大阪市西区靱本町 1-8-4 TEL:06-6443-5324
*地下鉄四ツ橋線本町駅、28 番出口から四つ橋筋を北へ徒歩 4 分
地下鉄御堂筋線 本町駅、2 番出口から北へ 1 筋目を西へ徒歩 6 分
3. テーマ：科学技術と倫理
4. 主 催：公益社団法人 日本技術士会近畿本部
5. 参加費：日本技術士会会員 1,000 円 非会員 2,000 円
6. スケジュール
開会のご挨拶 日本技術士会近畿本部長 福岡悟 13:00~13:05
講演 13:05~16:05
(1)「中堅技術者のための工学倫理入門」
石原哲男 技術士 (化学)
(2)「巨大化・総合化・複雑化した科学技術における技術者倫理」
田岡直規 技術士 (機械・総合技術監理)
(3)「これからのエネルギーに期待—原発に無関心と無知を恥じての反省」
石橋伸之 技術士 (電気電子)
(4)「原発に見る社会倫理」
小林廣 技術士 (機械)
(5) パネルディスカッション 16:05~16:55
コーディネーター：末利てつ 技術士 (化学・総合技術監理)
パネリスト：講演者 4 名、浅野昌也 技術士 (化学・総合技術監理)
閉会のご挨拶 研修委員会委員長 杉本哲雄 16:55~17:00
懇親会(会費—3000 円・人、場所—B1 多目的ホール) 17:00~18:30
申込先：日本技術士会近畿本部 TEL:06-6444-3722、FAX:06-6444-3740

E-mail : pe@ipej-knk.jp URL : <http://www.ipej-knk.jp/>

所属		氏名	
区分	技術士(会員 非会員)	連絡先	E-mail :
	部門	懇親会	参加 不参加

以上

講演者・パネリスト等のご紹介

石原 哲男 イシハラ アンド アソシエーツ代表 技術士（化学）

1964年大阪府立大学工学部卒業。(株)ダイセル高分子研究所所長、三国プラスチック(株)常務取締役歴任。2000～2003年大阪府立大学産学連携総括コーディネーター。2004年～(社)近畿化学協会工学倫理研究会会員、2005年～近畿大学工学部非常勤講師(工学倫理)。(公社)日本技術士会化学部会幹事、近畿本部幹事化学部会長。分担執筆「技術者による実践的工学倫理」((社)近畿化学協会)編著。

田岡 直規 技術士（機械・総合技術監理）

1983年京都大学大学院工学研究科化学工学専攻修士課程修了。1988年ロンドン大学インペリアルカレッジ大学院機械工学専攻修士課程修了。大阪ガス(株)導管事業部、資材部、日本ガス協会技術開発部プロジェクトマネジャー・部長等を歴任。立命館大学、豊田工業大学、岐阜大学、豊橋技術科学大学非常勤講師(技術者倫理)(2007年～)。(公社)日本技術士会近畿本部幹事、機械システム部会幹事、環境研究会幹事、中部本部ETの会(技術者倫理研究会)副代表幹事。

石橋 伸之 技術士（電気電子）、博士（工学）

ISO-QMS/EMS/ISMS各審査員補、APEC/EMF Engineer(電気/情報)、一級電気工事施工監理技士。静岡大学工学部電子工学科1960年卒、同年東芝入社・放送機器開発設計からシステム総括担当で、比国三大ネット局・バクダット放送センター・中国中央電視台新館・国内外の放送局多数建設等担務し放送部門長を経て1990～1998年日本エレクトリックシステムズ社長。1998年石橋技術士事務所開設。奈良先端科学技術大学院大学・情報科学研究科1999年入学2002年修了。2006～2011年静大非常勤講師「システム経営工学・生産管理と全安全」他。(公社)日本技術士会近畿本部幹事。

小林 廣 技術士（機械）

1957年阪大工機械卒、浦賀船渠(株)(現住友重(株))入社。以後、阪大工助手、コンサル、1964年技術士登録(No.3314)、(株)平川鉄工(現ヒラカワガイダム(株))(ボイラメーカー)取締役開発部長、同志社大工機械講師(ボイラ設計製図)、1991年通産大臣表彰(H2エネルギー管理功績者)、[科学技術倫理]研究開始、日本規格協会関西モチベーション研究会WGリーダーとして2000年9月「これからの新製品開発と社会倫理」出版、ボルカノ(株)(バーナメーカー)事業部長兼開発部長、2006年～立命館大非常勤講師(科学技術倫理)、[環境とエネルギー(資源)]の[真理]と[倫理]の技術士活動中。

浅野 昌也 近畿大学大学院総合理工学研究科客員教授、技術士（化学・総合技術監理）

京都大学大学院理学研究科修士課程修了。博士(工学)。

東レ(株)電子情報材料研究所第一研究室長、電子材料技術部長、印写材料生産部長を経て、2003年～2006年(財)化学技術戦略推進機構(産学連携「ナノ粒子の合成と機能化技術プロジェクト」PM)、2007年～甲南大学理工学部非常勤講師(化学工業論、2011年から技術者倫理)、2009年～近畿大学大学院総合理工学研究科客員教授(総合技術監理、2011年から産業倫理)。

末利 てつい 技術士（化学・総合技術監理）

1968年名古屋大学大学院工学研究科修士修了。大阪ガス(株)にて総合研究所、シンガポール事務所長、企画部、国際部、資材部部長等を歴任。2005年株式会社テス・リサーチ設立。(公社)日本技術士会近畿本部副本部長、近畿本部化学部会・環境研究会・中国部会幹事。日中科学技術交流実行委員長。2009年～大阪府大高専非常勤講師(企業経営)。2009年から(公社)日本技術士会理事・副会長。